

(仮称) 神田錦町三丁目施設整備事業に関するアンケート調査
調査結果報告書 (概要版)

I 調査の概要

1. 調査目的

千代田区では現在、神田錦三丁目の区有地（神田錦町三丁目 10 番地）において、障害者支援施設、高齢者施設、共用施設等を含む、「(仮称) 神田錦町三丁目施設」の整備等（以下、「本事業」という）を進めている。

本事業の実施にあたり、令和 2 年 3 月には基本計画を策定し、共生社会の実現に向け、誰もが自分らしく暮らせる、地域に親しまれる施設とすることを基本方針とし、具体的な施設整備の方向性を示しており、その後、施設整備に関する説明会を複数回開催している。

導入する施設・機能の具体的な検討にあたっては、「神田錦町北部周辺地区地区計画」「神田警察通り沿道賑わいガイドライン」において、神田警察通り沿道に人を惹きつけ波及効果をもたらす拠点や沿道の特色を活かした魅力ある市街地の形成が求められていることを踏まえ、地域の交流や賑わいの創出に資する機能の導入を検討している。

上記機能等について、改めて周辺住民の皆様のお考えを伺い、今後の施設整備の参考とさせていただくことを目的に、アンケート調査を実施した。

2. 調査方法

(1) 調査対象

神田公園出張所地区の全戸及び希望者

(2) 調査方法

ポスティング

(3) 配布期間

令和 4 年 3 月 23 日～令和 4 年 3 月 29 日

(4) 調査期間

配布日～令和 4 年 4 月 30 日

3. 調査項目

(1) 回答者の属性（年齢、加入している町会）

(2) 共用施設について

- ① 共用施設としてあってほしい機能
- ② 共用施設が整備された場合の具体的な利用イメージ
- (3) 福祉避難所的機能について
 - ① 福祉避難所的機能の規模
 - ② 発災時の協力
 - ③ 福祉避難所的機能の整備に対する意見
- (4) その他
 - ① その他（仮称）神田錦町三丁目施設整備に対する意見

4. 回収結果

配布数 5,203 件

回収数 558 件

回収率 10.7%

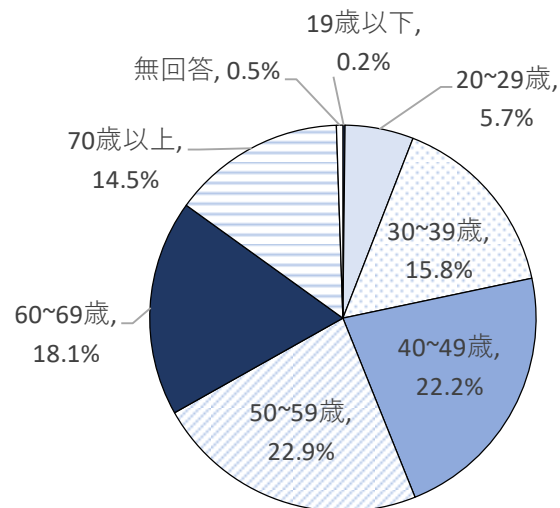
配布地域	町丁目	配布数	回答数	回収率
神田錦町	1 丁目	455	42	9.2%
神田錦町	2 丁目	340	40	11.8%
神田錦町	3 丁目	370	57	15.4%
神田小川町	1 丁目	275	37	13.5%
神田小川町	2 丁目	325	31	9.5%
神田小川町	3 丁目	800	80	10.0%
神田美土代町	－	235	25	10.6%
内神田	1 丁目	540	63	11.7%
内神田	2 丁目	245	24	9.8%
内神田	3 丁目	275	18	6.5%
神田司町	2 丁目	400	47	11.8%
神田多町	2 丁目	845	86	10.2%
神田鍛冶町	3 丁目	95	4	4.2%
その他希望者		3	3	100.0%
不明		－	1	－

Ⅱ 結果概要

1. 回答者の属性

(1) 年齢

回答者の年齢は 50～59 歳が 22.9%と最も多く、29 歳以下は 5.9%と少なかった。



(2) 加入している町会

いずれかの町会に加入している人が全体の 31.9%、加入していない人が 49.6%、無回答が 18.5%であった。

(3) 居住エリア

回答者の居住エリアとしては、神田多町 2 丁目が 15.4%と最も多く、次いで神田小川町 3 丁目が 14.3%となっている。対象地に近い神田錦町 1 丁目～3 丁目は合計で 24.9%となっている。

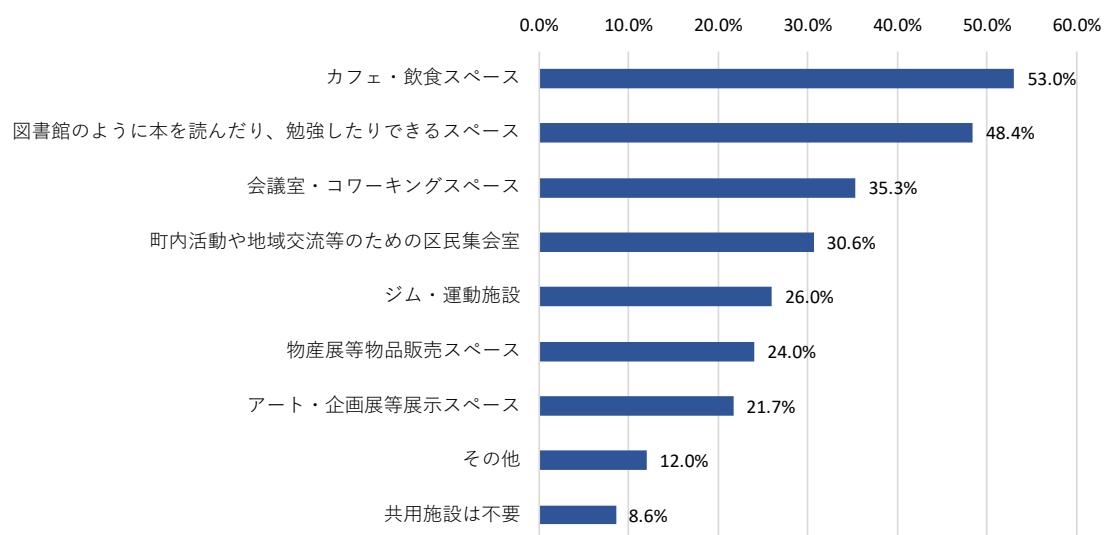
配布地域	町丁目	人数 (人)	割合 (%)
神田錦町	1 丁目	42	7.5%
神田錦町	2 丁目	40	7.2%
神田錦町	3 丁目	57	10.2%
神田小川町	1 丁目	37	6.6%
神田小川町	2 丁目	31	5.6%
神田小川町	3 丁目	80	14.3%
神田美土代町	－	25	4.5%
内神田	1 丁目	63	11.3%
内神田	2 丁目	24	4.3%
内神田	3 丁目	18	3.2%

配布地域	町丁目	人数（人）	割合（％）
神田司町	2丁目	47	8.4%
神田多町	2丁目	86	15.4%
神田鍛冶町	3丁目	4	0.7%
その他希望者		3	0.5%
未回答		1	0.2%

2. 共用施設について

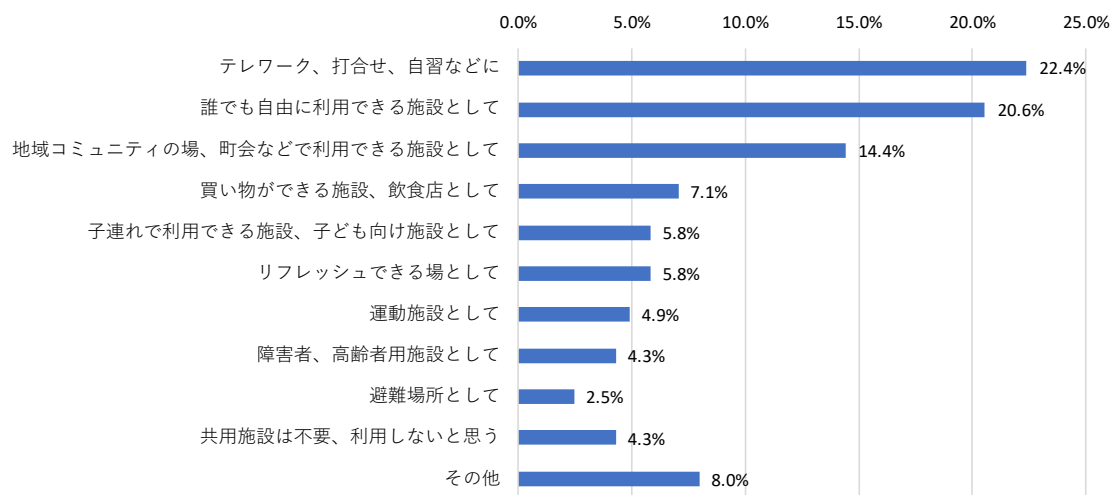
（1）共用施設としてあってほしい機能（複数回答可）

共用施設としてあってほしい機能は「カフェ・飲食スペース」が 53.0%と最も多く、次いで「図書館のように本を読んだり、勉強したりできるスペース」が 48.4%となっている。一方で、「共用施設は不要」との回答も 8.6%あった。



(2) 共用施設が整備された場合の具体的な利用イメージ（自由回答、N＝326）

共用施設をどのように利用したいかについては、「テレワーク、打合せ、自習などに」との回答が 22.4%、「誰でも自由に利用できる施設として」が 20.6%となっている。

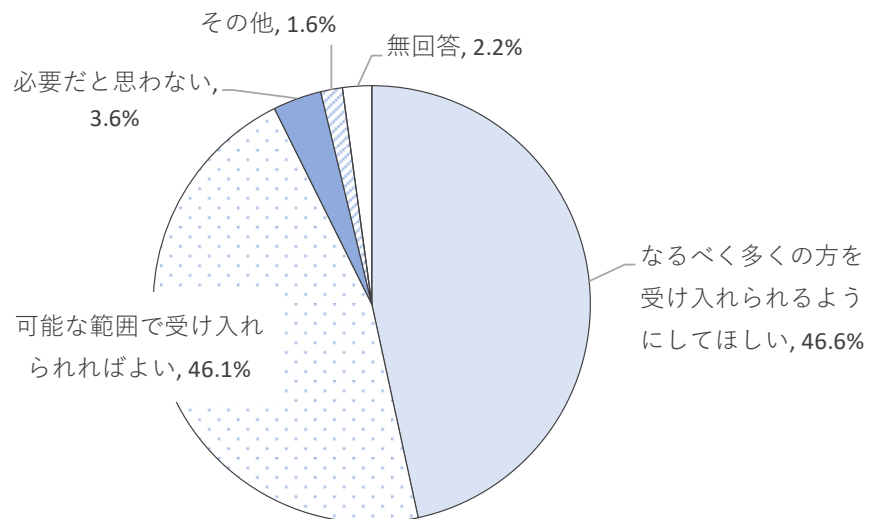


※回答は自由記述であり、上図は回答を分類した上で作成した。

3. 福祉避難所的機能について

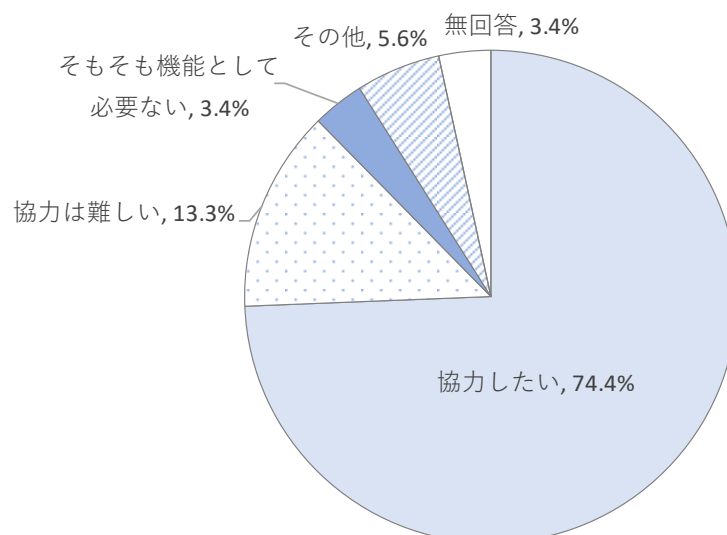
(1) 福祉避難所的機能の必要性

福祉避難所的機能の必要性については、「なるべく多くの方を受け入れられるにしてほしい」と「可能な範囲で受け入れられればよい」がほぼ同じ割合となった。



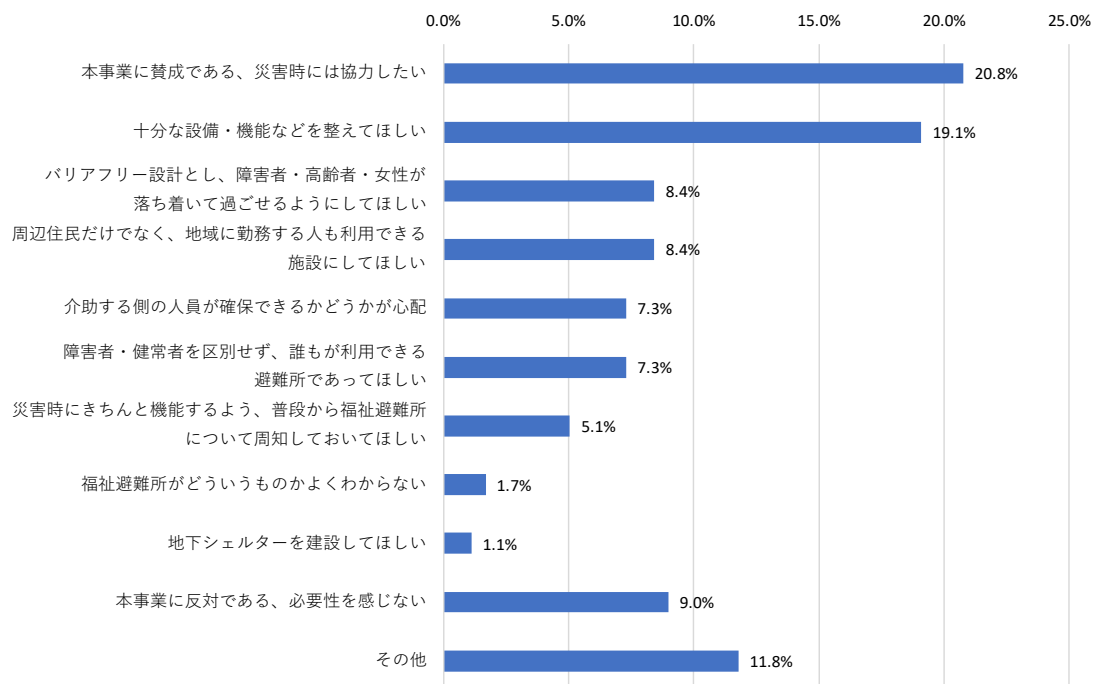
(2) 発災時の協力

発災時の協力については、74.4%が「協力したい」と回答した。



（３）福祉避難所的機能の整備に対する意見（自由記述、N＝178）

福祉避難所的機能は必要である、協力したいといった意見、十分な設備・機能が必要という意見が多く見られた。一方で、必要性を感じないといった意見も１割程度あった。

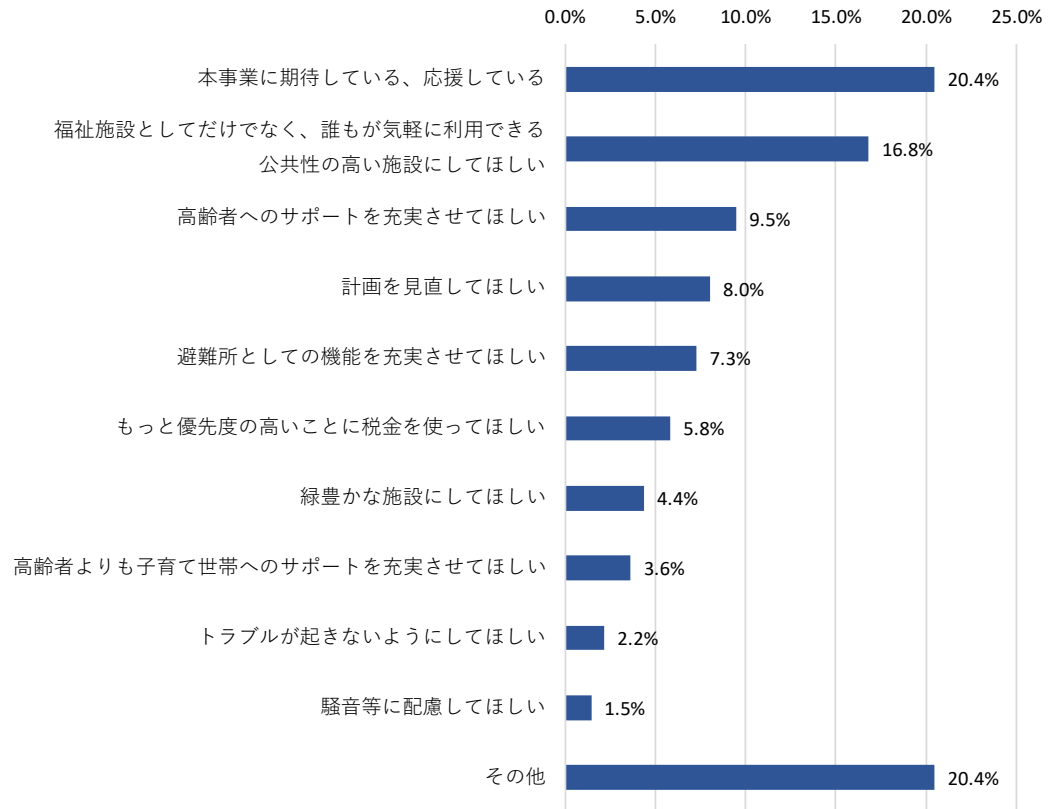


※回答は自由記述であり、上図は回答を分類した上で作成した。

4. その他

(1) その他（仮称）神田錦町三丁目施設整備に対する意見（自由記述、N＝137）

本事業に賛同する意見、誰もが利用できる公共性の高い施設を要望する意見が多い一方、計画を見直してほしい、もっと優先度の高いことに税金を使ってほしいといった意見も一定割合見られた。



※回答は自由記述であり、上図は回答を分類した上で作成した。

以上